

2004 年度（平成 16 年度）事業計画書

国内経済にようやく明るい兆しが見えはじめましたが、まだまだ本格的な景気回復には至っておらず、企業メセナにとっては迎える2004年度も引き続き厳しい状況が続くものと予測されます。このような中で、当協議会では効率的な運営をはかりつつ、とくに次項に重点をおいて活動を推進します。

(1) 関西地区対策の推進

2003年8月に開設した関西事務所を拠点に、関西圏における企業メセナの啓発・普及活動をさらに積極的に推進してまいります。

(2) 入会促進対策の推進

会員数の拡大をめざして、未加入企業・団体の入会促進対策を積極的に講じてまいります。

(3) 15周年記念事業の企画立案

当協議会は、2005年(平成17年)2月に設立15周年を迎えることから、その記念事業を2005年度に実施すべく、準備作業を進めます。

なお、プレイベントとして、2005年3月開催予定の第30回通常総会において、記念講演会および祝賀レセプションの開催を計画します。

事業計画

1. 啓発・普及事業 (6,390 千円)

1.1 セミナー等の開催 (2,000 千円)

本年度は以下のように「会員向け」と「一般向け」に区分し、他事業との連携により、対象者のニーズも十分に踏まえた内容で実施します。

| 対象 | 区分 | 回数 | 開催地域 |
|----|--------------|-----|-----------|
| 会員 | 1. メセナ入門セミナー | 年1回 | 東京 |
| | 2. フィールド視察 | 年3回 | 東京2回／関西1回 |
| | 3. 会員セミナー | 年4回 | 東京3回／関西1回 |
| 一般 | 1. メセナフォーラム | 年1回 | 福岡または札幌 |
| | 2. 公開セミナー | 年4回 | 東京2回／関西2回 |

1.2 全国メセナネットワーク会議への参加 (350 千円)

全国メセナネットワーク（加盟15団体／事務局：企業メセナ協議会）の本年度の全国会議は2004年9月に福島県喜多方市で開催される予定です。

本会議には、当協議会会員にも参加を呼びかけ、加盟団体関係者との交流を通じて、地域におけるメセナ活動の振興に努めます。

1.3 広報活動の強化 (500 千円)

前年度より広報活動を強化したことにより、新聞媒体を中心に協議会活動に関する報道が多く見られるようになりました。

本年度も、関西地区も含め、引き続き次の活動を推進します。

- (1) プレスリリース等による情報発信
- (2) 記者発表会の開催
- (3) 記者との日常のコンタクト

2. 情報集配・仲介事業 (29,344 千円)

2.1 情報紙の発行 (7,000 千円)

本年度の機関紙『メセナ note』は、次の改善をはかりつつ、引き続き年 6 回、隔月に発行します。

- (1) 協議会および会員による活動の積極的な紹介
- (2) 各事業との連携、ホームページとの連動強化
- (3) 定期購読者の開拓

[発行要領]

発行月 奇数月 15 日

体裁 A4 サイズ、8 ページ

※このほか増刊号・別冊を発行の予定

10 月 (「メセナ note 読者賞」案内)

11 月 (『メセナリポート』: メセナ活動実態調査結果の発表)

発行予定部数 毎号 5,000 部

2.2 情報システムによる発信 (7,000 千円)

(1) 現在、ホームページは協議会の重要な発信媒体になっており、2003 年度に推進したリニューアル計画後も、引き続き利用者拡大をめざして、積極的に情報を発信してまいります。

(2) データベース「メセナビ」は、企業によるメセナ活動や財団による助成活動についての有力な情報源として利用者が多く、本年度もより使いやすい検索システムとなるよう充実をはかります。

2.3 コーディネート事業 (収入: 1,000 千円、支出: 200 千円)

会員企業や教育機関、公共団体等からの要請に応え、メセナ関連の事業や教育カリキュラム等の企画立案あるいは運營業務に協力してまいります。

2.4 出版 (8,000 千円)

次の書籍の第2巻を本年度内に刊行します。

○タイトル 『メセナ白書シリーズ No.2』

○内容 地域のユニークな企業メセナを紹介するレポート及び2004年度メセナ活動実態調査結果の報告などを予定。

○発行予定 2005年2月

○発行元 ダイヤモンド社

3. 調査研究事業 (10,750 千円)

3.1 調査活動 (3,500 千円)

<メセナ活動実態調査>

本年度は、調査部会の協力を得て、企業メセナの現状がより鮮明に把握できるように、また、さらに多くの企業から回答が得られるように設問内容の一部等をリニューアルして下記のとおり実施します。

調査対象 民間企業約4,000社

実施時期 2004年4月～5月

調査結果の発表方法

- ① 『メセナ note』別冊<メセナレポート>
- ② 総合データベース『メセナビ』
- ③ 協議会ホームページ
- ④ 記者発表会、プレスリリースの配信
- ⑤ 書籍『メセナ白書シリーズ No.2』

3.2 研究活動 (1,010 千円)

(1) 研究 (810 千円)

研究部会において、前年度の「アート NPO」に関する研究成果をふまえ、メセナを取り巻く状況の中から今日的課題を抽出して研究活動を進め、年度内にその成果を報告書にまとめます。

(2) 実務担当者勉強会 (200 千円)

会員のメセナ担当者による「実務担当者勉強会」(通称:「若手ネットワーク」)は、本年度も参加者の自主的な運営によって年間4回程度開催されるよう協議会事務局でサポートしてまいります。

4. 顕彰事業 (15,200 千円)

4.1 「メセナ アワード 2004」(10,000 千円)

前年度に新設した「文化庁長官賞」を含めて本年度の公募を行うにあたり、事業名を「メセナ アワード 2004」と改称し、「メセナ大賞」と「文化庁長官賞」の2部門を設けて実施します。

- 募集期間 4月～5月
- 審査会 9月上旬・下旬(2回)
- 贈呈式 12月2日(木) 会場:東京青山・スパイラルホール
- 後援 文化庁

なお、審査委員は、前年度に引き続き次の方々に就任いただきます。

池上 惇氏 (京都橘女子大学・文化政策学部長)

柏木 博氏 (デザイン評論家、武蔵野美術大学教授)

南條史生氏 (森美術館副館長)

松岡和子氏 (演劇評論家、翻訳家)

三善 晃氏 (作曲家)

森まゆみ氏 (作家、谷根干工房主宰)

渡辺 裕氏 (東京大学大学院教授<美学芸術学>)

(福原義春会長・理事長)

5. 国際交流事業 (1,328 千円)

5.1 国際交流 (520 千円)

各国のメセナ組織と日常の情報交流を継続するほか、次の国際会議に協議会からも参加の予定です。

- 会議名 国際メセナネットワーク会議
- 開催時期 2004年9月初旬
- 開催地 イタリア

6. 助成事業 (助成寄付金額 500,000 千円／業務費 20,922 千円)

6.1 助成認定業務 (7,038 千円)

2002 年度の対象範囲の拡大及び 2003 年度の規定改定にともない、助成認定制度の申請件数は増加傾向にあります。本年度も全国各地に開設された地域相談窓口を引き続き協力を求めつつ利用者の拡大を図ります。

6.2 関西事務所での活動 (4,000 千円)

2003 年 8 月から開設した関西事務所では、(財)大阪 21 世紀協会の協力を得て、助成認定制度の PR 活動を中心に、企業メセナの啓発・普及を積極的にはかってまいります。

(参考) 助成認定活動実績

| 年 度 | 1994 | 1995 | 1996 | 1997 | 1998 | 1999 | 2000 | 2001 | 2002 | 2003※ |
|---------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 申請件数 | 103 | 92 | 125 | 121 | 121 | 172 | 176 | 151 | 155 | 187 |
| 認定件数 | 83 | 80 | 109 | 115 | 111 | 155 | 165 | 146 | 153 | 181 |
| 寄付件数 | 159 | 430 | 661 | 769 | 697 | 752 | 879 | 949 | 835 | 878 |
| 金 額 | 19,705 | 31,102 | 55,590 | 86,555 | 44,281 | 51,566 | 53,305 | 57,361 | 47,679 | 35,762 |
| 1 件当り金額 | 123 | 72 | 84 | 113 | 64 | 68 | 60 | 60 | 57 | 41 |

※金額の単位は万円、2003 年度は 11 ヶ月の実績

7. 15 周年記念事業の準備 (3,000 千円)

7.1 記念事業 (2,200 千円)

当協議会は、1990 年 2 月に任意団体として発足、同年 4 月に社団法人の認可を受けたことから、2005 年には設立 15 周年を迎えます。そこで、この機会をとらえ、企業メセナのいっそうの啓発・普及と協議会の発展を意図して、2005 年度に記念事業を実施すべく、準備作業を推進します。

なお、本年度は、2005 年 3 月開催予定の通常総会において、記念講演会と祝賀レセプションを開催する計画です。

以上